令和３年度 茨城県立神栖高等学校 グランドデザイン

神栖高校の目指す理念・学校像　～自立貢献～

一人一人が自立し、輝きに満ちた学校　社会に貢献できる優位な人材の育成

1　「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する学校
2　確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標をもたせ、個性と自立心を伸長させる学校
3　自制心、向上心、共感性等を育て、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する学校
4　特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校。
5　生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない学校。

豊かな人間性

1　自立を目指す基本的生活習慣の確立
2　社会のルールを守る規範意識の醸成
3　自分を愛し、人権を尊重する態度
4　社会貢献のできる豊かな人間性の育成

心と身体の健康

1　自己の精神を健康に保つ態度の育成
2　適切な運動等で体力を増進する態度
3　健康や食生活に関心を持つ態度の育成
4　個に応じたメンタルヘルスケア

資質・能力の育成

〈知識・技能〉
●自分を客観的にみる力、コミュニケーション能力
●他者を尊重する態度、職業・勤労についての基礎知識
〈思考力・判断力・表現力〉
●社会や組織における規範や法を理解し、積極的に社会参加
●自己理解を深化させ、自発的に進路選択を行おうとする態度
〈学びに向かう力、人間性等〉
●自己肯定感を養い、自ら目標や夢を決めることにより、
自ら学びに向かうアクティブラーナーを目指す

育てたい生徒像

●心身共に健康で、自己を適切に表現しようとする生徒
●他者と良好な関係を築こうとする生徒
●主体的に学習に励み、課題を見つけ探究心のある生徒
●目標に向かい、夢を実現しようとする生徒
●地域の課題を発見し、課題解決に向けて行動できる生徒

特色ある学び

［1学年］　人間関係作りＷＳ・スタディサプリ活用
［2学年］　ＴＧＧ研修・オンラインスタディツアー
［3学年］　オンライン職場見学

特に力を入れている教育活動

○学校設定科目（複数教員指導の基礎学力定着）
○進路希望（公務員・小学校教員・医療看護）
○資格試験料の補助制度・キャリア育成支援金給付

令和３年度の重点努力目標

（１）基礎学力の向上と学習の習慣化及び進路指導の充実
（２）基本的生活習慣の定着と安全指導等の充実
（３）チャレプロの実施・広報と教員研修の充実
（４）各種行事の創意工夫と新企画への挑戦
（５）学習環境・生活環境・職場環境の更なる充実
（６）広報活動の更なる充実及びまめーるの活用
（７）神栖市との連携及び外部機関との連携

【別紙２】

令和３年度　茨城県立神栖高等学校　「三つの方針」

三つの方針（スクール・ポリシー）	内　　容
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	●「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」、「社会に貢献できる有為な人材の育成」 ① 個人の目標を定め、協働的に粘り強く挑戦する。 ② 地域や社会における「解のない問い」に対峙できる力をつける。 ③ 様々な「自立」に向け、主体的、意欲的に行動する。 ④ 心身ともに健康で、情操豊かで他人を思いやる。 ⑤ 地元を愛し、地域を知り、個人や社会に「貢献」できる力をつける。
「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	●「学ぶ喜びを感じながら、主体的・協働的・探究的・社会的に学びを深める」 **(1)目標や進路希望に応じた教育課程** １年次→中学校での学習を基礎に、全生徒がフラットな学級編成で普通科での課程を修得 ２年次・３年次→学習成績並びに進路希望に応じ、各自に適切な教育課程の授業を選択 **(2) 県指定事業「チャレンジ・プロジェクト」の実施　(重点校)** １　探究活動→地域（神栖地域）や社会の課題に対し、各教科・科目で主体的・対話的で深い学びの実現を目指した「総合的な探求の時間」を軸に探究活動を進める。 ２　グローバル研修→広く世界に目を向けて、文化理解・交流・語学・地域理解を進める。 ３　自立活動→次世代につなぐ（赤ちゃんふれあい体験）、選挙講座、消費者教育等。 ４　キャリア教育→地元産業について学ぶ（合同企業研究会、インターンシップ等）、進学希望校の探求、三校合同学習会、保護者の学び（PTA 研修）、資格取得の奨励。 **(3)　特に力をいれる３つの進路実現の推進** １ 高卒公務員（神栖市役所、消防署、警察官、自衛隊等）試験合格 ２ 小学校教員養成課程四年制大学への進学 ３ 看護医療系専門学校及び四年制大学への進学 **(4)　ICT の活用** 高度情報化社会に対応できるよう、情報活用能力を育成し、ICT 環境を整備しつつ、新技術を活用した様々な教育活動を実践し、実体験を通した情報モラルの向上を図る。 **(5)　特別な配慮を必要とする生徒への対応** 生徒、保護者等からの教育ニーズ等を把握した上で、個々の生徒の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、できる限りきめ細かく適切な指導と必要な支援を行う。 **(6)　多様な評価の実施** 生徒のよい点や変容等を評価するため、各教科・科目で評価の場面や方法を工夫し、外部の試験・評価等も参考として生徒の実力を診断し、それぞれの個に応じた進路実現に活かす。 **(7)　教職員の継続的で充実した研修** 教職員が、各教科・各科目の指導方法、ICT 教育、地域連携の学びなど、新たな価値のある学びを継続して研修する。

【別紙２】

「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	●資質・能力並びに３年間計画する教育内容を踏まえ、入学時には次のような生徒を求める。 ① 中学校で修得すべき基礎学力の上に、各自の心身の発達及び進路に応じて、一層の学力を身に付けようとする生徒。 ② 主体的に学習する態度や習慣を身につけ、進路実現を目指し、日々努力する生徒。 ③ 学校内外の様々な活動（部活動、芸術活動、ボランティア活動）等に積極的に取り組むみ、実践し、表現しようとする生徒。 ④ 人への思いやりを大切にするという精神を尊重しようとする生徒。 ⑤ 本校で身に付けた資質・能力を発揮して、世界や地域の課題を自分の課題として、解決に向けて探究するとともに、仲間と一緒に活動しようとする生徒。